

報道関係各位

2003年9月8日
株式会社 構造計画研究所

構造計画研究所が環境にやさしい軽量緑化基盤「グリーンシステム・レン」の発売を開始

森林保全と都市緑化のダブル効果を持つ画期的な新製品

株式会社 構造計画研究所（東京都中野区、代表取締役社長 服部正太）は、株式会社レン設計事務所（東京都港区、代表取締役社長 進来 廉）と共同で、株式会社プラム・エコプロジェクト（青森県八戸市、代表取締役社長 梅津 光三郎）が開発した軽量型人工土壌「グリーンシステム・レン」の独占販売を開始しました。

近年、日本の森林の大部分では間伐材の用途が広がらないことから、間伐が行われず荒廃しはじめています。「グリーンシステム・レン」はこの間伐材を有効活用した100%自然素材による製品で次のような特色を持っています。

■ 施工の容易性

防根シートの上に敷くだけで、すぐに芝生が根付きます。土を使用していないので屋上等を汚すこともなく、泥が排水溝に流れることもありません。また現場で形を自由に加工できます。

■ 軽量・薄型・高性能

厚さ50mmと薄く、重量も1㎡あたり約13キログラム（水を吸った状態で最大35kg）と従来製品と比較して格段に軽量で、既存の建物でも補強なしで緑化が可能です。また保湿性が高く、芝の根付きが早く、そして踏圧に強いいため、施工後すぐに芝の上を歩くことができます。

■ ヒートアイランド対策

都市部の急激な気温上昇であるヒートアイランド現象を防止するために、東京都では2001年4月に屋上緑化条例を制定して、都市部の緑化を推進しています。本製品は広さ、場所を問わずあらゆる構造物上の空間を短期間で緑化することができます。

■ コンクリート劣化防止

緑化により、夏場のコンクリートの表面温度の上昇を大幅に下げ、表面の膨張・収縮が原因とされるコンクリートの劣化を防止できます。

■ 断熱・保温効果

屋上を緑化することにより、夏の断熱および冬の保温効果が高まり、エアコンなどの電気代を節約できます。

■ エコサイクル製品

当製品は杉の間伐材と微粉炭でできています。不要になった場合でも産業廃棄物を発生させることなく、自然に土に戻ります。また間伐材を使用しているため、森林保全にも役立ちます。

構造計画研究所は当製品を造園業界、ゼネコン、マンションディベロッパー、官公庁、ホームセンターなどの小売業などのルートに初年度1億5千万円程度の販売を計画しており、次代のニュービジネスの柱の一つに成長するよう注力していきます。

本件に関するお問い合わせは下記へお願い致します。		
	製品および販売について	ニュースリリースについて
担当者	株式会社構造計画研究所 企画営業部 猿渡、藤島	株式会社構造計画研究所 コーポレートコミュニケーション&マーケティング部 佐藤、栗本
TEL	03-5342-1006(直) 03-5342-1100(代)	03-5342-1141(直) 03-5342-1100(代)
FAX	03-5342-1222	03-5342-1241
e-mail	green@kke.co.jp	kkeinfo@kke.co.jp
住所	〒164-0012 東京都中野区本町4-38-13 日本ビルディング会館内	〒164-0012 東京都中野区本町4-38-13 日本ビルディング会館内
H.P.	http://www.kke.co.jp/green	http://www.kke.co.jp

構造計画研究所について

1959年創立。現在、ネットワーク、マルチメディア、情報通信、移動体通信分野から建設、製造分野に至るまでの広範かつ最新のIT技術を駆使したソフトウェア開発ならびにソフトウェアプロダクトを提供。さらにOR・シミュレーション手法を用いた工学・製造分野におけるコンサルティングサービスやマーケティング分野におけるコンサルティングサービスも行っています。また建設・環境分野における数値解析コンサルティングサービスや建築・構造設計分野でも強みを発揮しており、様々な業界に対し、多様なソリューションを提供しています。

構造計画研究所および、構造計画研究所のロゴは、株式会社構造計画研究所の登録商標です。